

令和4年度 学校評価

選択肢

- ①「そう思う」 …4点 ②「どちらかというと思う」…3点  
 ③「どちらかというと思わない」…2点 ④「そう思わない」 …1点 で計算して平均点を示してあります。

|                                   | 重点目標         | 教育アンケート項目   | 子ども                         |     | 保護者 |     | 教職員 |     | 学校<br>関係者<br>評価 |    |
|-----------------------------------|--------------|---|-----------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------------|----|
|                                   |              |   | R3                          | R4  | R3  | R4  | R3  | R4  | R4              | R4 |
| 確かな学力の育成                          | 基礎基本の習得      | 子どもたちは宿題や家庭学習にすすんで取り組んでいる。                                    | 3.4                         | 3.4 | 3.0 | 2.9 | 3.6 | 3.4 | B               | A  |
|                                   |              | 子どもたちはおはなしタイムで自分の考えを言うことができる。                                 | 3.2                         | 3.4 |     |     | 3.1 | 3.1 |                 |    |
|                                   |              | 子どもたちは、読書活動にすすんで取り組んでいる。                                      | 3.3                         | 3.3 | 2.7 | 2.8 | 3.1 | 3.0 |                 |    |
|                                   | 学ぶ意欲の向上      | 子どもたちはタブレット端末などICTを活用した授業や教育活動を「楽しい」「わかる」と言っている。              | 3.4                         | 3.4 | 3.0 | 3.5 | 3.3 | 3.4 | A               |    |
| 学校は、体験や見学を取り入れ、地域の教育力を積極的に活用している。 |              |   |                             | 3.5 | 3.5 | 3.1 | 3.4 |     |                 |    |
| 豊かな心の育成                           | 温かい学級集団づくり   | 子どもたちは楽しく学校に通っている。  | 3.4                         | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.4 | 3.3 | A               | A  |
|                                   |              | 異年齢集団の充実  | 子どもたちは、異学年ともかかわり、協力して活動できる。 | 3.5 | 3.6 | 3.3 | 3.4 | 3.0 |                 |    |
|                                   | 基本的な生活習慣の定着  | 子どもたちはあいさつができる。   | 3.4                         | 3.4 | 3.1 | 3.1 | 2.4 | 2.6 | B               |    |
|                                   |              | 子どもたちはきまりや時間を守り、規則正しい生活をしている。                                 | 3.1                         | 3.3 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 3.1 |                 |    |
|                                   |              | 子どもたちは、そうじを黙って真剣に行うことができる。                                    | 3.0                         | 3.2 |     |     | 2.5 | 2.8 |                 |    |
| 命を大切に<br>する<br>子ども<br>の<br>育成     | 道徳教育の充実      | 子どもたちは自分や友達、周りの人、生き物の命を大切にしている。                               | 3.8                         | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.1 | 3.3 | A               | A  |
|                                   |              | 子どもたちは、交通事故、けが、不審者にあわないように気をつけて、生活できる。                        | 3.7                         | 3.7 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.4 |                 |    |
|                                   | 危機回避・対応能力の向上 | 子どもたちは、火事や地震が起きたとき、どのようにしたらいいか知っている。                          | 3.8                         | 3.8 | 3.5 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | B               |    |
|                                   |              | 学校は、遊具・施設など安全整備が行き届いている。                                      | 3.2                         | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 2.7 | 2.6 |                 |    |
|                                   |              | ゲーム、SNSやメール等の使用について、家族で話し合っ<br>て決めたルール（使い方や時間）がある。            |                             |     | 3.3 | 3.2 |     |     |                 |    |
|                                   |              | 家庭で話し合っ<br>て決めたゲーム、SNSやメール等の使用のルール（使<br>い方や時間）について、子どもは守っている。 | 3.3                         | 3.4 | 2.7 | 2.8 |     |     |                 |    |

〇一人一人に目の行き届いたきめ細やかな学習指導を行っていくことが大切である。そのためにも、少人数指導を取り入れるなど、多くの教員で協力・連携して教育活動をすすめていきたい。(①～⑤)

〇業前活動の「おはなし村」では、図書ボランティアの方による読み聞かせを楽しみにしている子どもたちが多く、図書館の利用も増えており、おすすめ本の紹介や調べ学習の時間の確保など、学校図書館司書との連携を高めることで、読書に対する興味・関心を高めていきたい。(③)

〇「確かな学力の育成」では、タブレットを活用した授業やオンラインでの授業を通して、学ぶ意欲の向上について評価が上がっている。学校では、「お話タイム」などを通して、聞く・話すといったスキルの向上をめざしている。さらに、基礎基本の習得に向けて、「学び方を学ぶ」指導の充実を旨ざしたい。(②④)

〇今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、できるだけ教育活動を実施する方向で検討してきた。たてわり班活動も高学年を中心に、継続して楽しく展開することができた。子どもたちの生き生きとした姿が見られることが多かった。(⑥～⑦)

〇子どもたちの自己評価では、昨年度と比べると評価が上がっている項目が多い。withコロナの生活も定着する中で、徐々に再開されるさまざまな活動を通して、目標のある生活が意欲の向上や自己肯定感の高まりにつながっているのではないかと。(⑥～⑩)

〇運営委員会を中心に、自主的な「あいさつ運動」をきっかけに学校内での挨拶の声が徐々に響くようになってきた。登下校でも、地域の方など誰にでも明るい挨拶ができるように家庭と連携して指導していきたい。また、基本的な生活習慣が身につくよう、杉山小の生活3原則「時を守り」「礼を正し」「場を清める」を教職員、児童ともに再確認したい。(⑧～⑩)

〇タブレットを家庭に持ち帰ることが増えているが、ネットモラルに対する指導を充実させ、正しい利用の仕方が身につくようにしたい。(⑮～⑯)

※今後さらに「信頼される学校」を築いていく必要がある。そのためにも、すべての教職員が共通理解をもって同一歩調で子どもたちの成長を支援していくことが最重要課題である。